若手研究者・学生交流会実施報告

【日時】2017 年 3 月 15 日 17 時～19 時
【場所】パシフィコ横浜　会議等 312
【参加者】学生・若手研究者 29 名
　　会員サービス委員会より：瀬山倫子、小林慶裕、大淵真理、近藤高志　委員
　　インダストリアルチャプターより：西川恒一　代表
　　事務局：岡本晋一、中内晶

【内容】

（１） SC の紹介（東北大 SC、名大 SC、阪大 SC、九大 SC、徳島大 SC、宇都宮大 SC）

小林先生より SC の設立経緯等について説明があり、その後事務局より簡単に現 SC 制度について説明の後、各 SC に５分程度ずつ活動内容を紹介いただいた。

（２） 電子材料若手交流会（ISYSE）の紹介

東北大出浦桃子様より活動内容について紹介いただいた。

（３） 応物若手施策の紹介

事務局より企業若手会員の会費割引制度・寄附制度・キャリア相談会（ランチョン含む）について紹介した。

（４）グループに分かれて歓談　テーマ：若手会員が応物に求めるもの・こと

５～６名ずつ、４グループに分かれ、話し合っていただいた。

＜グループ０＞
・本交流会のような、集まる機会を増やしてほしい。また、もう少し認知度を上げてほしい。
・懇親会は仲間としか話さないので、若手交流のテーブルや、企業のテーブルがあればよい。
・SC の知名度を上げてほしい

＜グループ１＞
・プレゼンの講座を開いてほしい
・英語論文の書き方の講座があったが、もう少し学生寄りにしてほしい。英語での口頭講演の仕方など。
・チュートリアルの内容が難しいのでもう少し簡単にしてほしい

＜グループ３＞
・若手の会費、6000 円ではまだ高い
・友達と知り合える場がほしい

＜グループ２＞
・気軽に参加できる若手のみのパーティーがあればよい。
・学会以外のときも集いたい。
・HP に SC のことをもっと載せてほしい

＜その他＞
・代議員意見交換会で SC 代表たちが集まったときに、SC の代表や副代表レベルで LINE グループをつくろうとなった。もし入りたい人がいたら入ってほしい。（阪大 SC より）
・参加票に、SC のリボンがあってもよいのでは。
・企業に求めるものは？ロールモデルの紹介はうれしい？→特に意見なし。
・SC 活動への先生の反応は？→人によるがだいたいニュートラルでは。
・学会から活動に対する後押しがほしければ学会に言ってねと会員サービス委員より周知。

（４） 自由歓談、自由解散